科目名	生産システム工学特別ゼミナール Ⅰ	JABEE科目	科目コード P11004

学年・学科等名	1 学年	生産システム工学専攻　専門的・必修
単位数・開講期	2 単位	通年
総時間数	90 時間	演習 60 ＋ 自学自習 30
担当教員	機械システム・電気情報・システム制御情報工学科各指導教員	

JABEE関連	教育プログラム科目区分	303専門工学科目③課題解決系
	教育プログラムの学習・教育目標	C-1(20%) D-3(35%) E-1(20%) E-3(25%)
	JABEE基準	defgh

教　科　書　名	指導教員が指定した資料
補　助　教　材	
参　　考　　書	

A.　教育目標

生産システム工学を深く学び、あるいは特別研究を遂行する上で必要な基礎力を身につける。専門知識の獲得、情報検索、実験、データ処理、外国語論文読解、プレゼンテーション、討論、論文作成など多岐にわたる能力の訓練が求められる。

B.　概要

指導教員によって異なるが、生産システム工学あるいは特別研究に関する学術書、論文（外国語論文を含む）を取り上げ、それらについて自主的に学び内容に関する省察とまとめを、プレゼンテーションを含めた討論をとおして、学習する。

C.　学習上の留意点

学術書、論文は特別研究の基礎となる内容を精選して輪講形式で行う。

D.　評価方法

下表の項目・指針に基づいて担当指導教員が評価する。

評価項目	学習･教育目標	指針	評価割合
発表能力	C-1	・記述・討議ができるようになったか	20%
読解力	C-3	・英語等による技術論文、取扱説明書を理解することができたか。	40%
企画・デザイン力	D-3	・文献検索、資料収集等を積極的に行ったか。 ・デザイン対象をもとに、その能力を育成できたか。	10%
達成度	E-1	・自らが考えて進めた研究内容・方法があったか。	15%
創意工夫	E-3	・創造性を発揮して問題点を探求・解決することができたか。	15%

E.　授業内容

授業項目	時間	内　　容	教育プログラム
ゼミナール	60	生産システム工学に関する学術書、論文に関する輪講形式ゼミナールを実施する。 専門知識の獲得、情報検索、実験、データ処理、外国語論文読解、プレゼンテーション、討論、論文作成など多岐にわたる能力を身に付けることができる。	C-1 C-3 D-3 E-1 E-3
◆自学自習	30	自学自習時間は、調査、資料準備、プレゼンテーション準備などの時間を総合したものとする。	

F.　関連科目

生産システム工学専攻に関する科目全般